

第79期

中間報告書

2013.4.1 ▶▶▶ 2013.9.30



SANWA REPORT



三和ホールディングス株式会社

証券コード：5929



株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。ここに、当社第79期（2013年4月1日～2014年3月31日）の中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の状況

当期間における我が国経済は、個人消費が底堅く、住宅着工も高水準を維持し、経済政策により公共投資が増加し、遅れていた設備投資も増加に転ずるなど、景気の回復基調が鮮明となってきました。また、2020年の夏季オリンピック・パラリンピックの東京開催が決定し、今後に明るい兆しをもたらしました。海外（1月～6月）においては、米国経済は、住宅投資が回復したものの、設備投資は上期全体でほぼ横ばいとどまり、雇用情勢の改善スピードは遅く、総じて緩やかな回復となりました。欧州経済は、ユーロ圏全体で停滞が続き、建設市場も落ち込みが大きく、厳しい状況が続きました。

このような環境下、当社グループでは、当期より長期経営ビジョン「三和グローバルビジョン2020」を掲げ、その「第一次3ヵ年計画」をスタートさせました。国内においては、受注拡大を強力に推進し、更なる多品種化の拡大、収益性の向上に努めました。米国では、住宅市場回復に対応した新築市場向け製品の販売強化に注力するとともに、開閉機事業の強化、ドア事業の川下戦略の展開に努めました。欧州では、厳しい市場環境下、リストラの実施、生産性の向上など、コスト削減に努めました。

以上の結果、当社グループの第2四半期連結累計期間の業績は、大幅な増収・増益を確保することができました。連結売上高は、国内については、三和シャッター工業およびその他グループ会社も堅調であり、全体として増収となりました。海外について

は、北米は、ドア事業はガレージドアの増収、新型開閉機の好調などにより、現地通貨ベースで増収となりました。欧州は、建設市場の落ち込みや市場悪化が響き、現地通貨ベースで減収となりました。これらの結果、国内事業が牽引役となり、増収を確保することができました。

利益面では、国内では、三和シャッター工業の増収効果などにより大幅増益、北米では、フランス事業およびカナダサービス事業の悪化により減益、欧州では、販売数量減少などにより減益となりました。これらの結果、連結利益においても国内事業が牽引役となり、営業利益、経常利益ともに大幅増益となりました。純利益は、主に在外子会社の再構築・整理費用を計上したことや国内子会社におけるITシステム開発に伴うソフトウェア仮勘定を除却したことなどから減益となったものの、期初予想をわずかに上回りました。

通期の見通し

今後の見通しにつきましては、国内では、経済政策の効果もあり設備投資の増加、雇用情勢の改善、復興需要の進展など、景気は緩やかに回復することが期待されていますが、海外経済の減速などの景気下振れリスクも抱えています。米国では、金融政策の動向や財政問題の対応など懸念材料がありますが、個人消費や雇用情勢が改善し失業率が低下するなど緩やかに回復するものと見込まれます。欧州では、ドイツおよび英国で持ち直しの動きが見られる一方、政府債務問題、財政緊縮、高失業率など厳しい状況が続くものと思われま

す。このような環境下、国内では、マンションドア、間仕切の生産能力増強や施工技術者の増強などを推進してまいります。また、北米では、ERPの導入、川下戦略の展開、開閉機事業の更なる強化に取り組んでまいります。欧州では、構造改革の推進、省エネ対応製品投入による産業用ドア事業の拡販を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、当社の経営方針ならびに諸施策をご理解いただき、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2013年12月

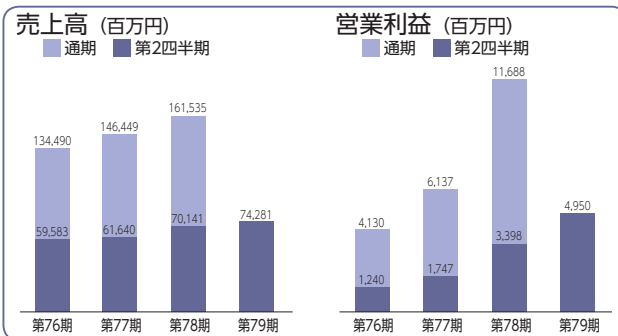
代表取締役会長兼社長 高山 俊隆

セグメント別の概況 (第2四半期連結累計期間)

日本	売上高	74,281百万円
	営業利益	4,950百万円

軽量シャッターは、前年に爆弾低気圧があったため減収となりましたが、重量シャッターが大型店舗・倉庫などの建設投資が堅調に推移し大幅増収となりました。また、ビル・マンションドアは受注は堅調なものの、売上は前年同期大幅増の影響で横ばい、メンテナンス・サービスは増収維持となり、売上高は前年同期に比べ5.9%増の742億8千1百万円となりました。

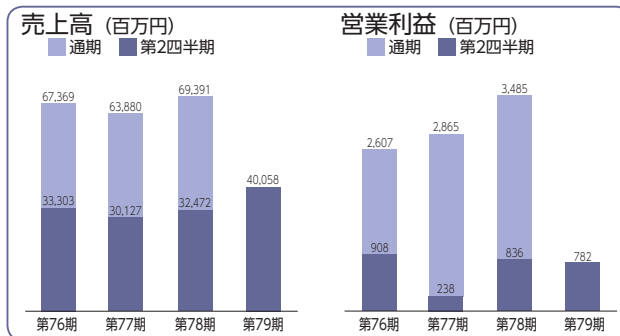
営業利益は、中核事業会社の三和シャッター工業の増収効果、販売価格の値戻しなどにより大幅な増益となり、国内グループ会社においても好調な結果となり、前年同期に比べ45.6%増の49億5千万円となりました。



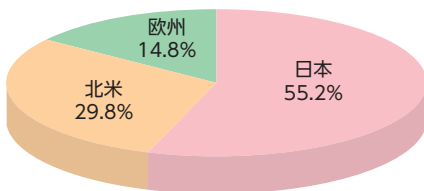
北米	売上高	40,058百万円
	営業利益	782百万円

ドア事業はガレージドアが伸びたものの、商業用ドアが減収、開閉機事業は新型開閉機の好調などにより大幅増収となりました。また、自動ドア事業もドアサービス会社の買収効果などにより増収、車両用ドア事業も増収を維持し、売上高は前年同期に比べ23.3%増(現地通貨ベースでは2.6%増)の400億5千8百万円となりました。

営業利益は、フランス事業およびカナダサービス事業の悪化により、前年同期に比べ6.4%減(現地通貨ベースでは22.1%減)の7億8千2百万円となりました。



●地域別売上高構成比



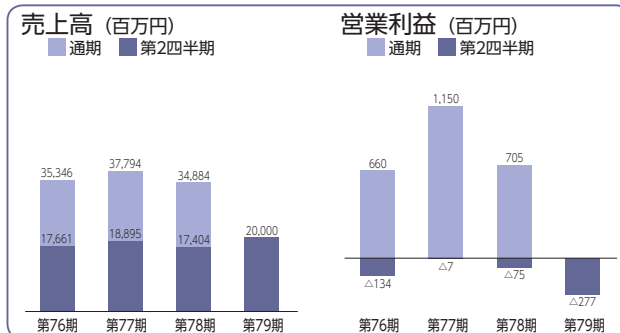
(注1) 地域別セグメントに属さない数値は除いているため、各地域の売上高、営業利益の合計値は、連結売上高、連結営業利益とは一致しません。

(注2) 記載金額・%は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

欧州	売上高	20,000百万円
	営業損失	△277百万円

ガレージドアは南欧、オランダなどに加えてドイツ市場悪化が響き減収、ヒンジドア事業は耐火ドアPJ受注活動などに注し微減収、産業用ドアは、非住宅建設市場悪化により減収となりましたが円安の影響により、売上高は前年同期に比べ14.9%増(現地通貨ベースでは5.2%減)の200億円となりました。

利益面では、販売数量減少などにより2億7千7百万円の営業損失となりました。(前年同期は7千5百万円の営業損失)



四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表の要旨

科目	前期末 (2013年3月31日)	当第2四半期末 (2013年9月30日)
資産の部		
流動資産	133,856	155,694
現金及び預金	21,739	31,571
受取手形及び売掛金	63,820	57,659
有価証券	2,779	10,016
棚卸資産	38,170	47,365
その他	8,681	10,526
貸倒引当金	△ 1,334	△ 1,444
固定資産	107,915	105,866
(有形固定資産)	(50,419)	(52,462)
建物	15,523	16,160
土地	22,582	22,602
その他	12,312	13,699
(無形固定資産)	(17,043)	(16,797)
のれん	2,325	2,367
その他	14,718	14,430
(投資その他の資産)	(40,451)	(36,606)
投資有価証券	29,022	26,944
その他	11,898	10,240
貸倒引当金	△ 469	△ 578
資産合計	241,771	261,561

※ 当第2四半期末の有形固定資産の減価償却累計額 76,732百万円

四半期連結損益計算書の要旨

科目	前第2四半期累計 (2012年4月1日～ 2012年9月30日)	当第2四半期累計 (2013年4月1日～ 2013年9月30日)
売上高	120,091	134,415
売上原価	89,158	97,672
売上総利益	30,932	36,743
販売費及び一般管理費	27,657	32,229
営業利益	3,275	4,514
営業外収益	731	635
営業外費用	754	850
経常利益	3,252	4,298
特別利益	72	833
特別損失	612	3,297
税金等調整前四半期純利益	2,711	1,835
法人税等	1,198	919
少数株主損益調整前四半期純利益	1,513	916
四半期純利益	1,513	916

※ 当第2四半期連結結果計算期間の1株当たり四半期純利益 3円82銭

(単位：百万円)

科目	前期末 (2013年3月31日)	当第2四半期末 (2013年9月30日)
負債の部		
流動負債	79,847	87,107
支払手形及び買掛金	38,397	37,793
短期借入金	8,591	8,886
1年内返済予定の長期借入金	3,362	7,451
その他	29,495	32,976
固定負債	64,789	68,879
社債	34,400	34,400
長期借入金	14,445	17,596
退職給付引当金	9,439	10,037
その他	6,503	6,845
負債合計	144,636	155,986

純資産の部

株主資本	99,457	99,166
資本金	38,413	38,413
資本剰余金	39,902	39,902
利益剰余金	30,975	30,692
自己株式	△ 9,833	△ 9,842
その他の包括利益累計額	△ 2,446	6,263
その他有価証券評価差額金	△ 1,601	1,310
為替換算調整勘定	△ 844	4,953
新株予約権	123	144
純資産合計	97,134	105,574
負債純資産合計	241,771	261,561

四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

科目	前第2四半期累計 (2012年4月1日～ 2012年9月30日)	当第2四半期累計 (2013年4月1日～ 2013年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,564	6,343
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,674	4,944
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 320	5,327
現金及び現金同等物に係る換算差額	17	273
現金及び現金同等物の増減額	1,585	16,889
現金及び現金同等物の期首残高	16,825	22,275
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,410	39,164

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

業界初の
新機構

差圧解消・通風機能付きマンションドア

Tredoor EKO A

トレドール エコア



ココがPOINT

ドアを閉めたままでスマートに通風
常に風が通ってしまうドアだと冷暖房効率が下がります。反対に風を一切通さないと、差圧で重くなった窓やドアを開けるのが一苦労。エコアなら通風装置の開閉が錠一つででき、しかもフィルターを通したきれいな空気を取り込みます。さらに、通風中も上の錠を施錠しておけます。外からは通風口が目立たない、スタイリッシュなドアデザインも魅力です。

ココがPOINT

【解錠時】 室内側サムターン
【施錠時】 室内側サムターン



解錠と連動して
通風装置がOpen

ドア断面図

ドア断面図



【通風装置】
Open

【通風装置】
Close

フィルター

ココがPOINT

フィルター設置で空
気はいつもクリーン

外気の取込口にフィルターを付けることで、ドア内部を通りぬげる空気を清潔に。フィルターは内側から引き出して掃除機や水洗いなどで簡単にお手入れすることができます。



室内側
※室外側と同色仕上げ
もできます。

三和シャッター工業株式会社では、業界初となる錠前と通風装置を連動させた新機構で、玄関ドアが重くなり開けにくくなる現象を軽減する差圧解消・通風機能付きマンションドア「トレドール エコア」を発売いたしました。

2003年7月の建築基準法の改正により、シックハウスの原因となる化学物質の室内濃度を下げするため、24時間換気システムなどの居室の換気設備設置が義務づけられました。そのため、居室の内外に気圧差が生じ、特に、風の強い日や高層マンションなどでの玄関ドアの開閉は高齢者や子どもにとって困難をきたす、という声が多くあり、これらの声を受けて本商品を開発しました。

なお、玄関扉に求められる防火性能についても従来通り特定防火設備としての性能を確保しており、耐震、指はさみ防止仕様なども必要に応じて設定できます。

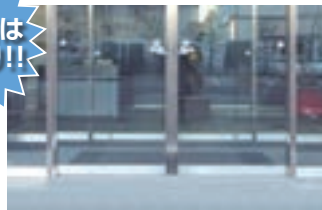
当社グループでは、これからも、安全・安心・快適を提供することにより社会に貢献するという使命のもと、お客様の視点に立ったものづくりに取組んでまいります。

軽量止水シート

ST Water Protect

ST ウォータープロテクト

通常時は
すっきり!!



通常時

かんたん
セット!!



STウォータープロテクト
セット時

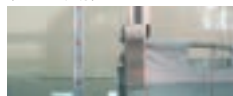
三和タジマ株式会社では、集中豪雨や台風時におけるエントランスへの止水対策として、ステンレス建具一体型止水シート「STウォータープロテクト」を発売いたしました。

三和タジマの「STウォータープロテクト」は、ステンレス建具一体型の止水シートが床下に収納されているため、通常時は一般のステンレス建具と変わらないスマートな外観を実現しています。シートは、止水高さ30・60・100cmの3タイプを用意しており、設置場所のハザードマップ（冠水地域データ）に合わせて高さを選択いただくことが可能です。

また、本商品は、床下に収納することで持ち運びを不要とし、更に工具を使わない簡単取り付けのため、約3分でセットすることができます。特に、意匠性を重視するオフィスビルや病院、ブランドショップなどのエントランス用止水シートとして最適です。

この「STウォータープロテクト」は、三和タジマが販売するほか、三和シャッター工業を通して販売を行っております。本商品を足がかりとして、三和グループのステンレス商品の更なる拡販に努めてまいります。

貯水試験にて性能値を確認
弊社工場試験で、設定された止水高さ
(100cm仕様)をクリアしています。



会社の概要

- 商号 三和ホールディングス株式会社
- 創立 1956年4月10日
- 資本金 38,413百万円
- 従業員数 (連結) 8,323名
※従業員数は就業人員数を記載しております。
- 本社所在地 〒163-0478
東京都新宿区西新宿二丁目1番1号
(新宿三井ビル52階)
TEL (03) 3346-3019 (代表)
- 主なグループ会社 三和シャッター工業株式会社
昭和フロント株式会社
沖縄三和シャッター株式会社
三和タジマ株式会社
三和エクステリア新潟工場株式会社
ベニックス株式会社
Sanwa USA Inc. (アメリカ)
Overhead Door Corporation (アメリカ)
Novoferm Europe Ltd. (イギリス)
Novoferm Germany GmbH (ドイツ)
Novoferm GmbH (ドイツ)
Novoferm France S.A.S. (フランス)
Novoferm Nederland B.V. (オランダ)
Novoferm Schievano S.r.l. (イタリア)

- ホームページアドレス <http://www.sanwa-hldgs.co.jp/>
ホームページで最新のトピックス、IR情報などを紹介、各グループ会社のホームページにもリンクしております。

役員

- 代表取締役会長兼社長
CEO兼COO 高山 俊隆
- 代表取締役
執行役員副社長 南本 保 社長補佐
- 取締役
専務執行役員 谷本 洋実 海外事業部門担当
- 取締役
専務執行役員 高山 靖司 経営企画部門担当
- 取締役
専務執行役員 上枝 一郎 国内事業部門担当
- 取締役
常務執行役員 福田 真博 海外事業部門担当補佐兼
米州事業担当
- 取締役 橋本 俊作
- 常勤監査役 中屋 俊明
- 常勤監査役 市岡 次郎
- 監査役 田辺 克彦 弁護士
- 監査役 森元 淳平

※ 橋本俊作氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
 ※ 田辺克彦氏および森元淳平氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。
 ※ 当社は株式会社東京証券取引所に対して、橋本俊作氏、田辺克彦氏および森元淳平氏を
 独立役員とする独立役員届出書を提出しております。

株式の状況

- 発行可能株式総数 550,000,000株
- 発行済株式の総数 257,920,497株
- 株主数 11,118名
- 大株主

株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	18,747	7.81
日本マスタートラスト信託 銀行株式会社(信託口)	15,406	6.42
株式会社三井住友銀行	11,299	4.71
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口9)	10,061	4.19
ザチエスマンハットンバンクエヌエイ ロンドンエスエルオムニパスアカウント	8,908	3.71
第一生命保険株式会社	8,100	3.37
日本生命保険相互会社	7,924	3.30
ノーザントラストカンパニーエプイェフシー サブアカウントプリティッシュクライアント	7,668	3.19
日新製鋼株式会社	6,968	2.90
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	6,420	2.67

※当社は自己株式 18,149,768株を保有しておりますが、上記の大株主からは除いております。
 ※持株比率は、自己株式を控除して計算しております。
 ※記載数値は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日
- 定時株主総会 毎年6月
- 株主確定日 定時株主総会議決権行使株主 3月31日
期末配当金受領株主 3月31日
中間配当金受領株主 9月30日
その他必要あるときは、あらかじめ公告して定めた日
- 単元株式数 1,000株
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座 口座管理機関
- 同連絡先 〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル)
- 上場証券取引所 株式会社東京証券取引所(証券コード5929)
- 公告方法 電子公告
公告掲載URL <http://www.sanwa-hldgs.co.jp/>
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告が行えない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。